



第1回NOWPAP地域における 海草藻場分布評価国際ワークショップ

日時：平成29年8月3日(木)、13:00~17:00
場所：氷見市海浜植物園(富山県氷見市柳田3583)

主催：(公財)環日本海環境協力センター
後援(予定)：富山県、氷見市、
北西太平洋地域海行動計画(NOWPAP) 地域調整部 (RCU)

参加費：無料、定員50名(裏面申し込み用紙をお送りください)
言語：英語



ワークショップ概要：

海草・海藻が群落を形成する藻場は、海中の様々な生物に隠れ場所・産卵場所などを提供するほか、窒素やリンなどの栄養塩と水中の二酸化炭素を吸収して光合成を行い、水の浄化や海中に酸素を供給することで浅海域の生態系を支えています。国連環境計画では、海草・海藻等が吸収・固定する炭素をブルーカーボンと呼び、気候変動緩和の役割からも注目されています。しかし、近年、埋め立て、水質汚染等の人為的な原因により、世界的な規模で沿岸域の藻場の減少が報告されており、藻場の分布状況と消失要因を把握することが求められています。

NOWPAPの特殊モニタリング・沿岸環境評価地域活動センター(CEARAC: Special Monitoring and Coastal Environmental Assessment Regional Activity Centre)の指定を受ける(公財)環日本海環境協力センターでは、NOWPAPの参加国(日本、中国、韓国、ロシア)の研究者と共に、人工衛星画像による解析から沿岸域の海草藻場の分布状況と消失要因を把握するプロジェクトを実施しています。この度、本プロジェクトに参画する研究者が一堂に会し、国連環境計画のブルーカーボン事業を推進する研究者と共に、人工衛星画像による海草藻場分布抽出の現状と課題を整理し、NOWPAP地域の沿岸域の海草藻場分布の広域的な把握に向けた今後の具体的な活動計画を議論するための国際ワークショップを開催いたします。

ブルーカーボン、人工衛星画像解析による藻場分布の抽出に興味関心のある方の参加をお待ちしています。

プログラム

時間	講演内容（講演及び議論は英語になります。下の内容は参考訳です。）
	- 基調講演 -
13:00 - 13:30	UNEP/GRID-Arendal プロジェクトオフィサー / Maria Potouroglou博士 炭素貯蔵庫としてのブルーフォレストの可能性：NOWPAP地域のブルーカーボンに関する活動をはじめるとの展望
13:30 - 14:00	横浜商科大学商学部商学科 / 小松輝久 教授 海草保全の観点からみた生物学的に重要な海域の抽出と海草分布の将来予測
14:00 - 14:10	- 休憩 -
	-国別報告: NOWPAP各国のアマモ分布の現状と消失要因について-
14:10 - 14:30	中国科学院 熱帯海環境研究所 / Yang Dingtian 教授
14:30 - 14:50	横浜商科大学商学部商学科 / 小松輝久教授
14:50 - 15:10	チョンナム大学校 海洋学部 / Keunyong Kim 研究員
15:10 - 15:30	ロシア科学アカデミー太平洋地理学研究所極東支部 沿岸地方自然管理部 / Vasili Zharikov 部長
15:30 - 15:40	- 休憩 -
	-NOWPAP地域の海草分布の評価に向けた事例紹介-
15:40 - 16:05	(一財)リモート・センシング技術センター 研究開発部 / 佐川龍之 主任研究員 日本における衛星画像を使った大規模なアマモ場のマッピング
16:05 - 16:30	長崎大学海洋未来イノベーション機構 / Gregory N. Nishihara 准教授 低コストなデータロギング技術による海草の生産量のモニタリング
	-全体議論: NOWPAP海域の海草藻場分布評価にむけて-
16:30 - 17:00	NOWPAP CEARAC / 寺内元基 主任研究員 NOWPAP地域における海草藻場マッピング フィージビリティスタディ報告書の構成について

参加申込書

必要事項をご記入の上、下のFAXもしくはE-mailの宛先までご送付ください。

FAX : 076-445-1581, E-mail : seagrass@npec.or.jp

ふりがな	
氏名	
所属	
住所	
連絡先	

お問い合わせ窓口

(公財)環日本海環境協力センター

TEL: 076-445-1571, FAX: 076-445-1581, E-mail: seagrass@npec.or.jp